

ときを越え  
受け継がれるもの

網代滝

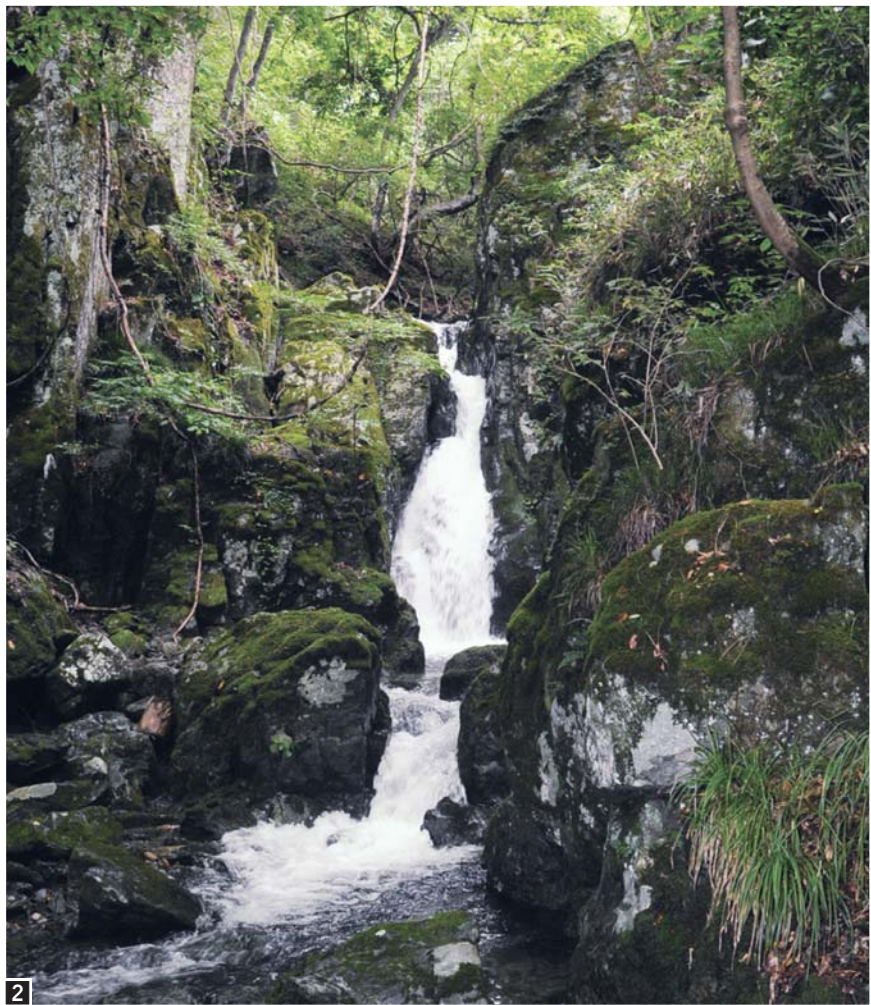
Ⅱ 水沢区黒石町字下ノ在家 Ⅱ

水沢区黒石町の小黒石自然体験交流館「こぐりん」から、地域を流れる大久保川沿いの道を進むこと約2キロ、うっそうと茂る林の中に網代滝はある。網代滝は高さ約7メートル、幅約1・5メートルと小さいながらも、背後にそびえる大鉢森山を水源とし「古代より渇水なし」と伝えられるほど豊富な水量を誇る。この滝を発見したとされる黒石の治右衛門（1616〜73年）は、地域に安定した水を供給するため「内野堰」を造り、堰を通る水は現在も農業に利用されている。

小黒石集落では平成13年に「古代の流れ源流「網代滝」を守る会」を結成。滝周辺の遊歩道や山道の整備が行われ、黒石小学校の学習やみずさわエコキッズ活動の舞台としても活用されている。北上川にそそぐ源流にある網代滝。その流れは、豊穡の大地と人々の心に潤いを与え続ける。

※遊歩道までの道は未舗装で道幅が狭い箇所もあるため注意が必要

広告



1 古代の流れ源流「網代滝」を守る会により整備された遊歩道。滝付近に下りる斜面には階段と手すりが設置されている 2 苔むした岩の間を勢いよく水が流れ落ちる網代滝。右側の岩には長年の水流で浸食された跡が見える

